

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌南高等学校長 平野道雄

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

ICT を効果的に活用した教育活動を推進し、本校教育の質の向上を図る。

2 自己評価結果・学校関係者評価の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価結果	学校関係者評価結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律は安定していると共に、先進校への学校視察を通して ICT 活用を促進したが、教員と生徒及び生徒同士の相互作用に ICT を十分に活用しきれてはいない。 内規の整備に伴い成績出しの手続きが組織化され、適切に運用されている（分掌と教科担任間での見解の齟齬等が見られない）。 プログラミング研修や「学×食なんてい」を通しての検定奨励等、生徒は学校外単位修得に意欲的だが、放課後学習会への参加が振るわないなど、組織的効果の顕在化は道半ばである。 	学習指導については適切に実施されたと評価している。引き続き、計画的・組織的な取り組みの整備を通じた教育活動の質の向上に期待したい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 校務の効率化及び授業改善に係る ICT 活用の促進 及び 学校外単位修得促進のための組織的取組の整備。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 大方の生徒は挨拶に返答し、時間を守り、欠席しない自己コントロール力を持つが、成長途上にある生徒も少なくない。 コミュニケーション教室、年数回の個別面談、月1回の生徒情報交換会、いじめ防止委員会での熟議等、組織的方策を実施した。 デートDV 防止教室、SCによるこころの健康教室、長期休業前の防犯教室等を通して啓発を行ったが、人間関係や自身の人生に悩む生徒の実態を見ると課題はある。 	生徒指導については概ね適切に実施されたと評価している。課題点を明確化するとともに、多様な背景を持つ生徒支援を通じた教育活動の質の向上に期待したい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立への支援・指導の充実 及び 生徒の困り感の詳細な把握と外部機関との連携による支援。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 年度2回の進学相談会及び定期的な求人情報・進学情報の提供とそれらを踏まえた進路学習等により、一定程度進路意識は高まったが主体性の涵養が見られない生徒も散見された。 面談で個別のアプローチを行い、また夏祭りをサポステと、体育大会を大学生と、それぞれ共同運営する中で、場に応じた態度を学べる環境は用意したものの、TPOに応じた研修は提供しきれなかった。 進学相談会や個別面談の実施を通して、情報提供及び生徒のきめ細かなニーズ把握に努め、進路指導部長を中心に3、4年担任とのきめ細かな連携が行われている。 	進路指導については適切に実施されたと評価している。引き続き、多様な外部機関との連携を通じた教育活動の質の向上に期待したい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 進路開拓を自分事に捉えるための支援の充実 及び TPOを踏まえた適切な対応を身に付ける環境の提供。 	
健康・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> 給育教室及びプレコンセプションケア教室を実施、また養護教諭による的確・迅速な面談、SCによる定期的なカウンセリングにより、生徒が自身を大切に、心身の健康を守る意識が向上した。 1日防災教室における避難所運営体験等を通して、主体的な防災への意識は一定程度向上したが、人間関係や自身の人生に悩む生徒の実態を見ると課題はある。 	健康・安全指導については適切に実施されたと評価している。引き続き、きめ細かな生徒支援の実践を通じた教育活動の質の向上に期待したい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 適切な人間関係の構築や自身の心身を守る危機管理意識の向上のための組織的取組の充実。 	
働き方	<ul style="list-style-type: none"> 勤務スライドや勤務割振等を活用するなど、教職員のタイムマネジメント意識は非常に高く、自身の仕事量とのバランスを見ながらの勤務状況が見られる。 	働き方については適切に実施されたと評価している。引き続き、働きやすさと働きがいの両立を通じた教職員のウェルビーイング向上の工夫に期待したい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 働きやすさと働きがいを共に感じられる風通しの良い職場づくりへ向けた継続した勤務形態の工夫の推進。 	
公表方法	本校ウェブサイトへの掲載及び学校評議員会での共有	

